

## 新研究会シリーズ

### 第4回サステナビリティ研究会

(ESD: Education For Sustainable Development 持続可能な発展のための教育)

中部高等学術研究所：サステナビリティ研究会へのお誘い

中部高等学術研究所は、今年度から、サステナビリティ研究会を開催することにいたしました。21世紀のわれわれの主要課題がサステナビリティを価値基準とする社会を実現することであることは、今や世界の共通認識であると言っても過言ではないでしょう。

サステナビリティは大変幅広い概念であり、環境問題のみならず、高齢社会への対応など、現代が直面する様々な課題が含まれます。われわれの社会のサステナビリティを追求することは、21世紀を生きる学生の皆さんの考え方や行動、そして就職など人生設計にも大きな影響を及ぼすはずです。

このような考えに立って、この研究会では、教職員の皆さん、学生・院生の皆さん、社会人として大学で学んでおられる皆さん、そして広く一般の方々にも参加していただけるよう企画を立てていきます。まずは、特定のテーマに絞らず、幅広い議論を重ねながら、集中して取り組むべきテーマの発見へとつなげていく方針です。

是非、皆さまのご参加をお願いいたします。

日時 2010年10月28日(木) 17時～19時

会場 中部大学リサーチセンター2階 大会議室

演題：「東アジアの目で見える「グレーター・ナゴヤ」の戦略」

演者：細川 昌彦 中部大学中部高等学術研究所教授 / 元経済産業省中部経済産業局長

かつて「最強の名古屋」と呼ばれたこの地域も厳しい経済環境にさらされている。他方、グローバル経済が大きく変化する中で、シンガポール、香港、中国沿岸部、釜山など東アジアは今、人材と企業を引きつける大競争時代に入っている。そのような視野で、「グレーター・ナゴヤ」の今後の成長戦略はどうあるべきかを考える。

(「グレーター・ナゴヤ」とは、名古屋を中心とする半径約100kmの愛知、岐阜、三重の三県等にまたがる実質的に一体の経済圏を指します。)

お申し込み・お問合せ先：

中部高等学術研究所

487-8501 愛知県春日井市松本町1200

TEL：0568-51-1111 (内線5704)

FAX：0568-51-4736

E-mail：[chukoken@office.chubu.ac.jp](mailto:chukoken@office.chubu.ac.jp)